

事務事業 No./名称	■サービス部門 □支援部門 健福-27 老人センター等管理運営事業						
主管課	高齢者いきいき課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	健康増進、教育の向上、レクリエーションのための機会を供与するため。						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人			
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数	63,635人	63,092人	62,553人			
運営資源状況	決算値(千円)	179,398	188,152	191,760			
	(国・県)			10,761			
	(負担金等)						
	(一般財源)	179,398	188,152	180,999			
	人員配置数	0.8人	0.8人	0.8人			
	人件費(千円)	6,338	6,603	7,304			
	協働のパートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	185,736	194,755	199,064			
	市民1人当りの経費(円)	1,044	1,099	1,123			
	対象者1人当りの経費(円)	2,919	3,087	3,182			
ベンチマーク(県 内外自治体や民間 団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
60歳以上対象者数延利用者数	△	目標値	61,843人	62,553人	63,092人	63,635人	
		実績値	155,003人	159,003人	158,359人	152,153人	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面) (千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
老人センター等管理 運営事業	179,398	老人センター等管理運 営事業	211,939	今後の 方向性	B	理由 ・手法	利用者ニーズを施設運営に反映させるよう努め る。
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	各センターは、築20年から築40年経過しており、老朽化が進み、各所に損傷が生じているが、限られた予算の中で対応せざるを得ず、老朽化対策の計画的な取り組みが課題である。										
課題解決のための取組	突発的な修繕の早期対応や利用者ニーズを反映した修繕などにより、施設の長寿命化を図るとともに、利用者に喜ばれる修繕の実施に努めた。					取組の結果	■解決 □未解決				
未解決の課題	修繕は、限られた予算での対応となるため、建て替えや大規模な修繕の実施が困難である。										
中事業の評価	適切○要改善△(2面「評価の視点」を参照)		➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	計画的な修繕を実施し、施設の長寿命化を図るとともに、利用者ニーズを取り入れた施設運営に努めていく。					A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		➡	B		
※□事業完了											
評価者名			高齢者いきいき課担当課長				小宮 純				

